



松籟荘「家族の会」たより

第61号（令和2年4月30日 発行）



お誕生日おめでとうございます

4月 ミツ子さん（89歳） 敏恵さん（92歳） 武子さん（70歳） 静枝さん（79歳） はないさん（96歳）
富子さん（90歳）

5月 千代子さん（87歳） サクさん（88歳） 富さん（89歳） 文一さん（94歳） トミさん（93歳）
ミチヨさん（86歳） 真知子さん（69歳） すみえさん（94歳）

ご家族様の優しさに触れて

皆様、既にご存じの通り、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、松籟荘のみならず、いたる所の施設や病院でも面会をご遠慮いただく状況となり、早2ヶ月以上が経過します。まだまだ、油断をすることができず、国や県、自治体からも外出自粛や人との接触に距離を置くようにとの通達があり、数か月前とは激変した状況に、このような事態になるとは、誰しもが予想をしなかったことと思います。

さらには、新たな年度を迎えるとともに、気候も暖かくなり、気持ちも明るくなって、少しずつお出かけなどもできると思っていたのが、そのようなイベントなども行うことができず、入居者・利用者・ご家族様にもご不便をお掛けしております。「介護」に携わる者として、日常生活の面でも感染予防に細心の注意を払いながら、職員たちは仕事にあたっておりますが、巷でも言われているように「マスク不足」「アルコール不足」は続き、それは、施設も同様な状況であります。国等から支援物資も定期的には届いておりますが、十分とは言い切れません。

そのような状況をくみ取ってくださったご家族様から「少しでも役に立てば」「何もできないけどこれくらい」「前向きにみんなで頑張りましょう！」と言って手作りのマスクを届けてくれました。更には、ご家族様が入居しているユニットの職員には一人一人に労いのお手紙も直筆で書いて届けてくれたのです！中々、ガーゼや布、ゴムなども手に入りにくい状況の中、このようなプレゼントと優しさを頂き、非常に感激いたしました。また、ご退居されたご家族様からも「亡くなった母が家に取って置いた布で作ったんです」と言って同様に手作りのマスクを頂きました。ご退居された後でも施設や職員を想って作ってくれる心遣いに、心がホッコリいたしました。



このような状況ではありますが・・・松籟荘「家族の会」会費納入のお願い

R2.4.10に発送のあった、松籟荘からの新型コロナに関するお手紙の中にも記載があったと思いますが、本年度の清掃活動や総会の開催ができなかったため、2020年度分の会費を集める機会が持てませんでした。納入については随時、松籟荘受付にて承っておりますので、お手数ですがご来荘の際には**会費（年間費 3,600円）の納入**をお願いいたします。

ご家族様におかれましては、面会ができない中、さらには外出自粛の状況もあり、会費納入のためにご来荘頂くこと自体、大変恐縮ではございますが、その際に入居者様のご様子など口頭でお知らせすることもできますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。また、ご来荘が難しい場合は、お預かりしているご本人の通帳から引き落としのご依頼も承っておりますので、その際は電話でのご連絡をお願いいたします。

追伸：既に2020年度会費納入がお済みになられているご家族様には二重のお知らせになってしまいますが、ご了承いただければと思います。

